１．クリーンセンター衣浦はどのような施設ですか？

クリーンセンター衣浦は、家庭などから出る燃えるごみ、燃えないごみ、粗大ごみなど、様々なごみを処分している施設です。

以前、燃えるごみは、碧南市と高浜市がおのおの持つ小さな焼却場で燃やし、燃えないごみは、地面に穴をほってそのまま埋めていましたが、昭和４２年度に１日で５０トンのごみを燃やすことができるごみ焼却施設を、昭和５３年度に１日で４０トンのごみを処分できる破砕施設を建設しました。その後、人口が増加し、発生するごみの量が増えてきたことや、施設が古くなってきたことから、平成７年１０月に、１日で１９０トンの燃えるごみを処分できる**ごみ焼却施設**と、燃えないごみや粗大ごみを処分できる**粗大ごみ処理施設**を建設しました。

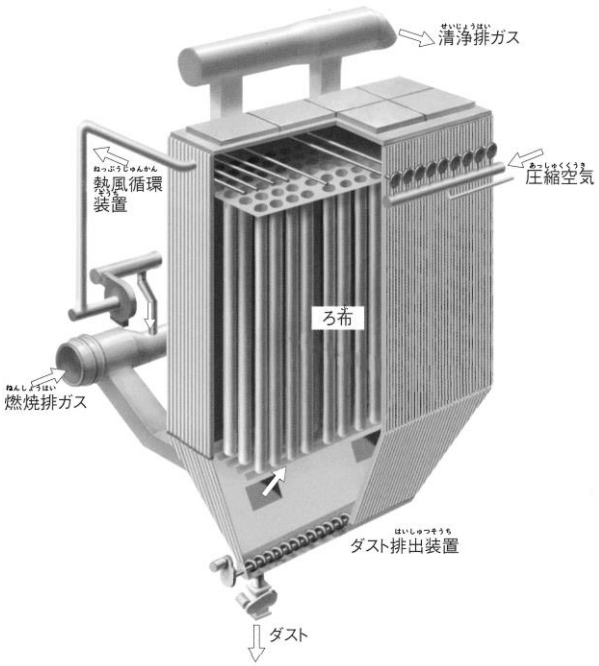
2．ごみ焼却施設はどのようなしくみですか？

収集車で運ばれてきた燃えるごみは、５日分、約９５０トンのごみを溜めることができるごみピットに集められます。ごみは、ごみクレーンでよく混ぜ、ごみホッパに入れます。

クリーンセンター衣浦　回転ストーカ式焼却炉

ごみホッパに入れられたごみは、主燃焼装置に送り込まれます。主燃焼装置は、直径約２．５ｍ、長さ約８．５ｍの筒のような形になっていて、ゆっくり回ることで、ごみを混ぜながら約９００℃で燃やしています。この焼却炉は、１日で９５トンのごみを燃やすことができます。

ごみは燃やした後、灰と排ガスになります。灰は最終処分場で埋め立てます。排ガスは、約２００℃に冷やし、**バグフィルタ**を通して小さなごみや有害な物質を取りのぞいたあと、高さ５９ｍの煙突から外へ出ていきます。



バグフィルタ

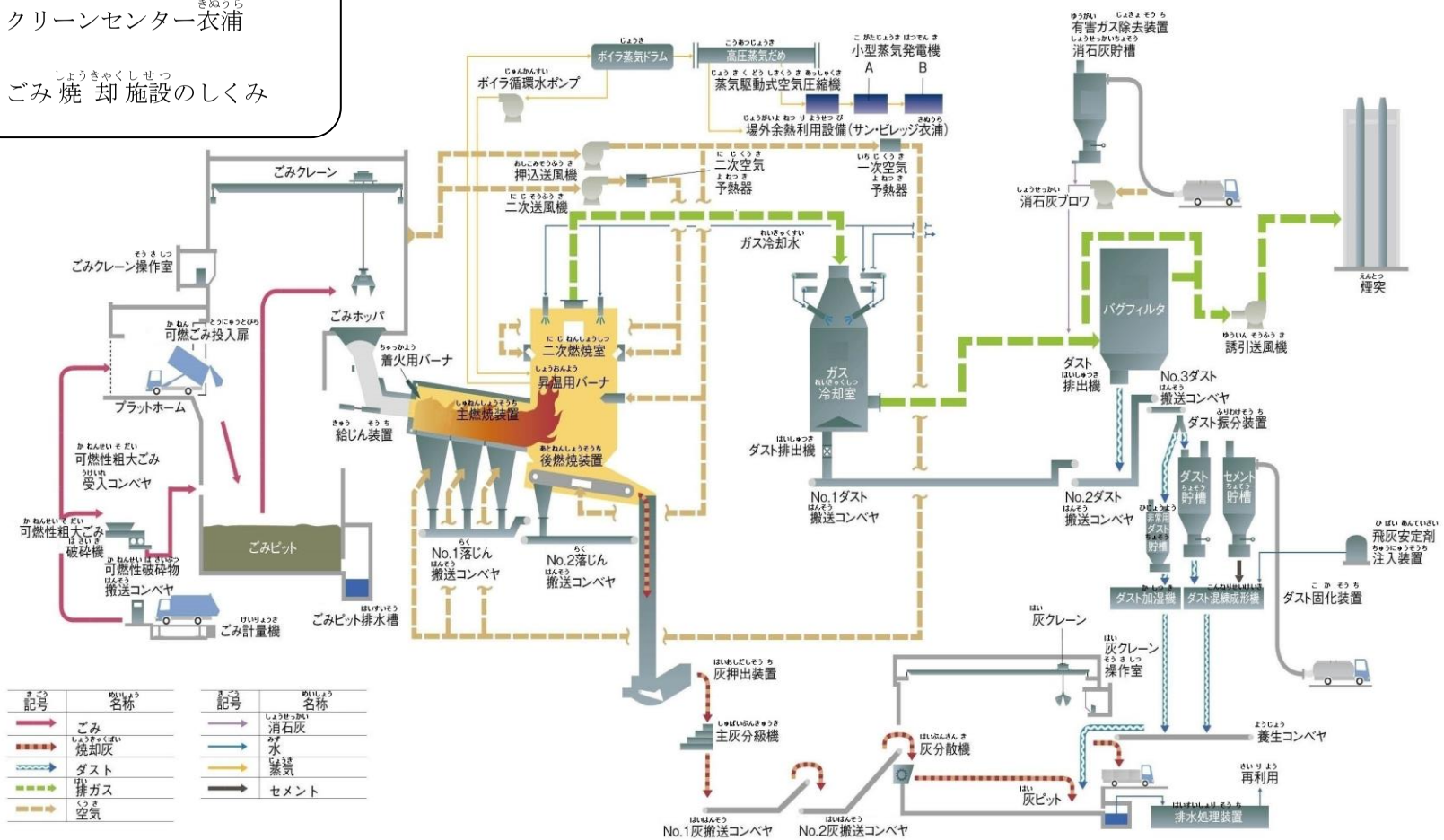
排ガスをきれいにする布製のフィルタです。

長さ5．5m、直径１５．５ｃｍで、１つの焼却炉につき３９２本使われています。

また、ごみを燃やすと熱が出ます。この熱を利用し、発電機で電気を作ったり、クリーンセンター衣浦施設内のお湯や冷暖房、サン・ビレッジ衣浦のお風呂とプールで利用しています。

クリーンセンター衣浦

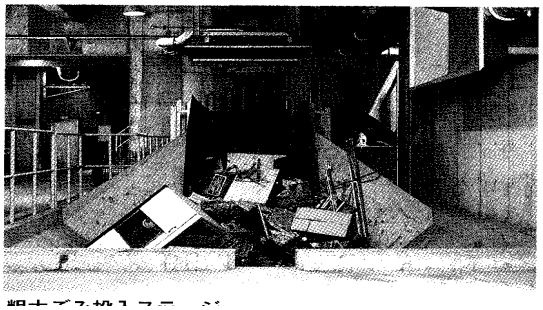
ごみ焼却施設のしくみ



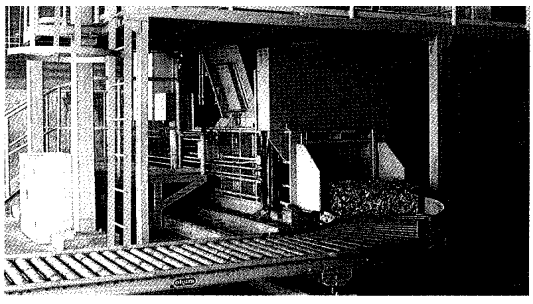
3．粗大ごみ処理施設はどのようなしくみですか？

燃えないごみや粗大ごみは、粗大ごみ受入ホッパまたは不燃ごみピットに入れます。これらのごみは、危険物選別コンベヤに送り、危険なものが混ざっていないかを手作業でチェックした後、破砕機で細かく砕いて、自動的に鉄、アルミ、燃えるごみ、燃えないごみの４種類に分けます。

鉄とアルミは、資源としてリサイクル工場へ運ばれ、また、燃えるごみは、ごみピットへ送って燃やし、燃えないごみは、最終処分場へ運びます。



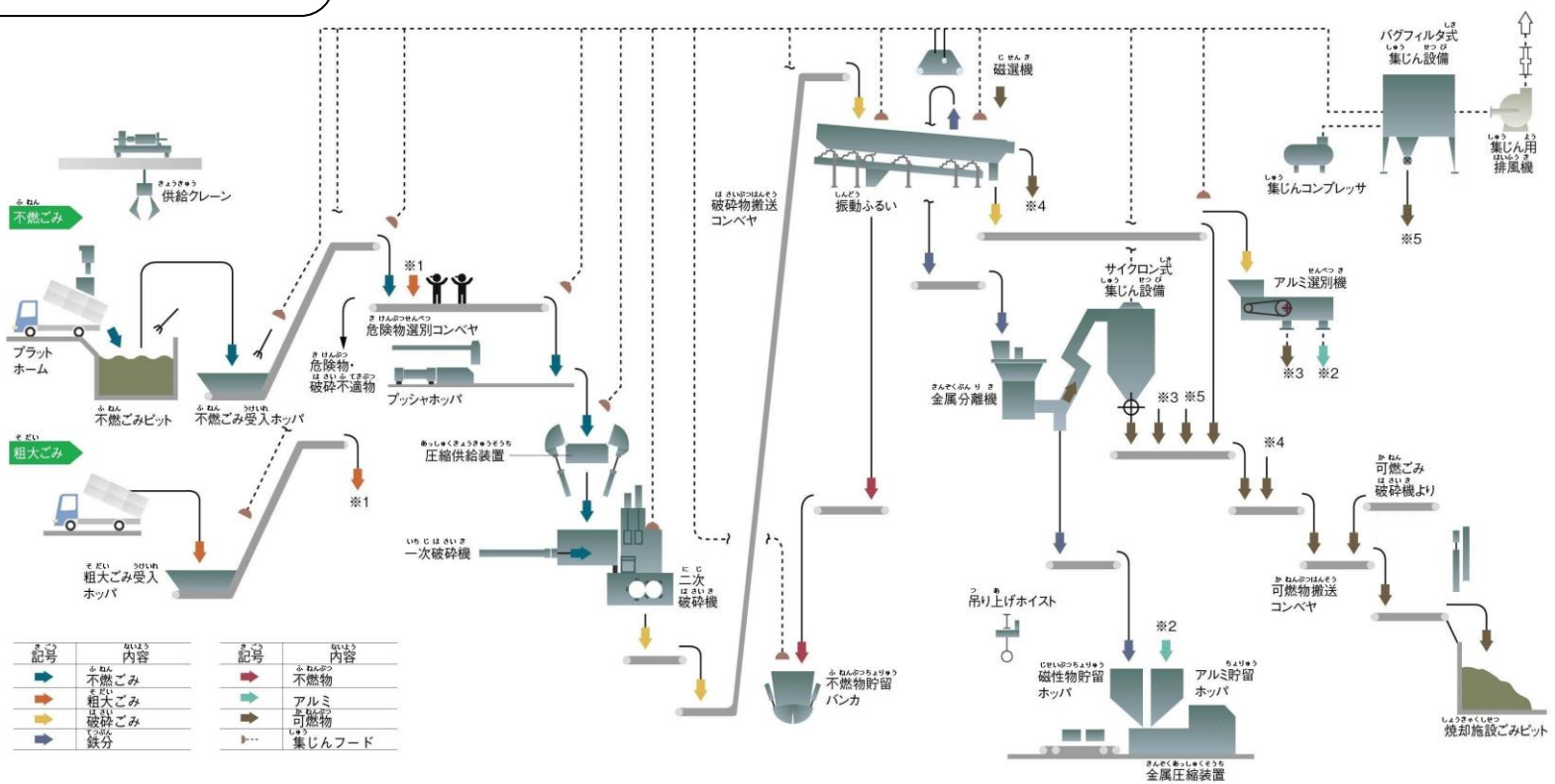
粗大ごみ受入ホッパ
ストーブなどの粗大ごみを投入します。



金属圧縮装置
回収した鉄やアルミを圧縮し、運びやすい形にします。

クリーンセンター衣浦

粗大ごみ処理施設のしくみ



4．ごみを燃やす人、燃えないごみを処理する人は何人いますか？

（令和６年４月１日現在）

ごみを燃やす人	燃えないごみを処理する人	ごみの重さを量る人	計
２２人	１０人	２人	３４人

5．集めたごみは、どうなりますか？

碧南市・高浜市で集めた燃えるごみ・燃えないごみは、全てクリーンセンター衣浦へ運ばれ、処理されます。ただし、家庭から出るごみで分別収集された資源ごみは、それぞれ直接リサイクル工場へ運ばれ、資源として再利用されています。

6．ごみを燃やしても空気は汚れませんか？

ごみが完全に燃えてしまえば、排ガスは二酸化炭素と水蒸気になります。

しかし、燃え方が不完全であったり、ごみの中に入っている物によっては、空気を汚す心配があります。

そこで、クリーンセンター衣浦では、安全で衛生的にごみを燃やすとともに、煙突から出る排ガスをきれいにするバグフィルタや、有害なガスを取り除く装置によって、空気を汚さないようにしています。

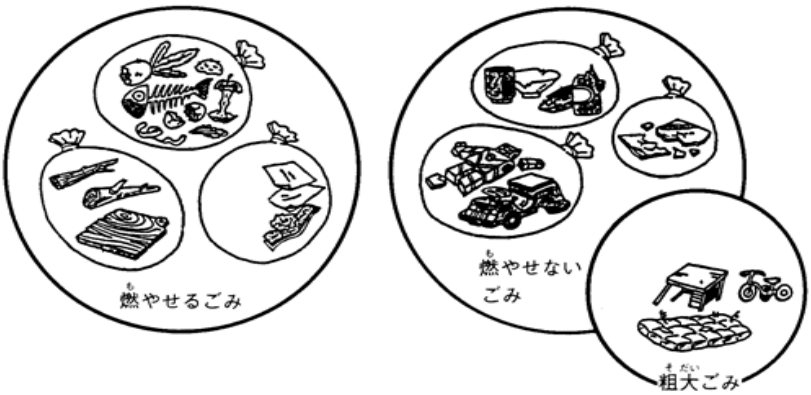
7．ごみを燃やした後に出る灰は安全ですか？

ごみは、燃やすと身体や環境に悪い「**ダイオキシン**」という化学物質が発生します。このダイオキシンの発生を抑えるために、ごみをごみピットでよく混ぜてから燃やしています。混ぜることで、燃える温度を安定させ、ダイオキシンの発生を抑えています。また、発生した**飛灰**（身体に悪い細かい灰）は、バグフィルタで取り除いています。

焼却灰や飛灰は、重金属固定剤によって身体や環境に悪いものが出ないようにしています。飛灰は、さらにセメントで固めて**固化灰**にし、最終処分場へ運んで埋め立てています。

クリーンセンター衣浦は、環境を守る安全な施設です

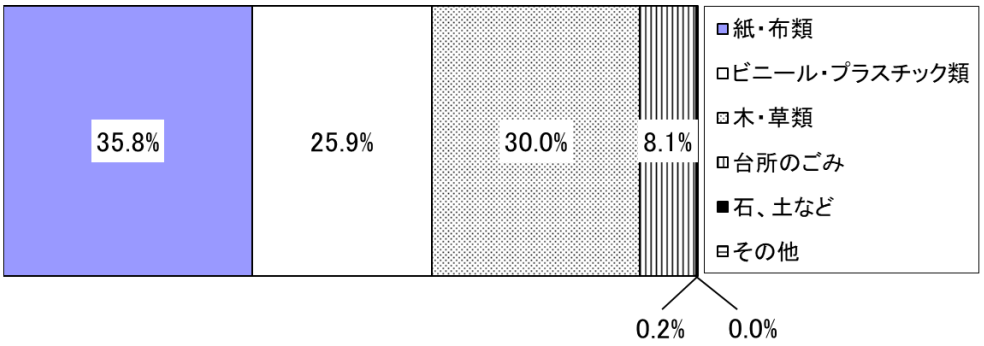
8．どんなごみが集まってきますか？



○燃えるごみ

燃えるごみには色々なものが混ざっていますが、１番多いのは紙・布類です。本来、紙・布類は燃えるごみではなく資源ごみなので、きちんと分別すればごみを減らすことが出来ます。

令和５年度



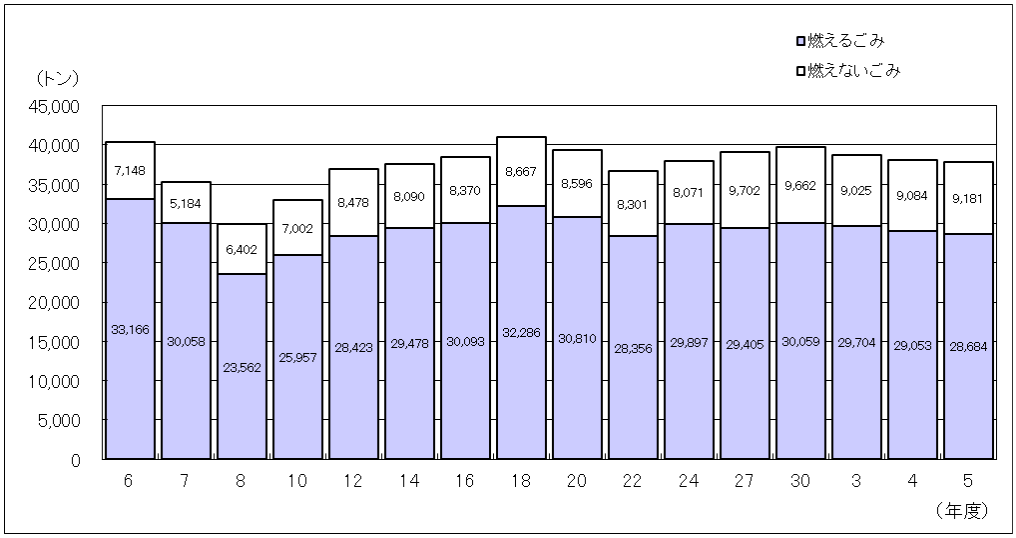
○燃えないごみ、粗大ごみ（大きなごみ）

家具、自転車、扇風機、掃除機、ラジオ、ストーブ、ふとん、カーペットなど。

9．ごみは１年間にどれくらい出ますか？

クリーンセンター衣浦（きぬうら）では、運ばれてきたごみを全てごみ計量器で計り、コンピュータに記録しています。

１年間に碧南（へきなん）市・高浜（たかはま）市の家庭から出たごみの量



令和５年度に、碧南（へきなん）市・高浜（たかはま）市の家庭から出たごみの量は、**37，865トン**です。毎日１人あたり**８５２ｇ**のごみを出していることになります。

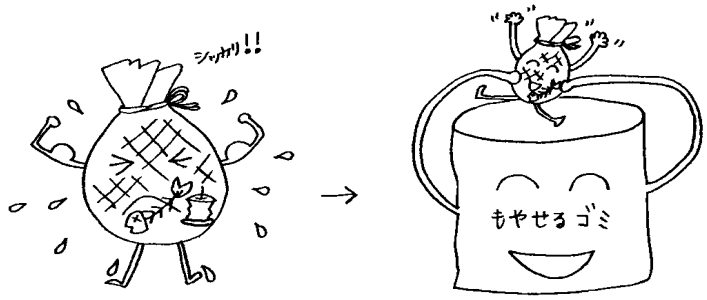
《１人が１年間で出すごみの量》

37,865トン÷121,681人＝0.311トン（**３１１ｋｇ**）

《１人が１日で出すごみの量》

311kg÷365日＝0.852kg　（**８５２ｇ**）

１０．ごみの出し方というのはありますか？



生ごみ（台所のごみ）は、水をよく切ってから捨(す)ててください。

ごみは、きちんと分別して出してください。

時々、燃(も)やせるごみの中に新聞紙や牛乳(ぎゅうにゅう)パックが入っている場合がありますが、これは紙としてもう一度生まれ変わることができる大切な資源(しげん)です。できるだけ分別して出しましょう。

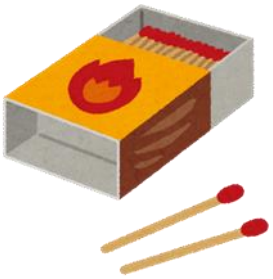
ごみが正しく捨(す)てられていないと、働いている人がけがをしたり、機械が壊(こわ)れたり、火災(かさい)が起きたりして大変危険(きけん)です。火災(かさい)の原因(げんいん)となるものは、分けて持ってきてください。

火災の原因となるため、分けて持ってきてほしいもの

マッチ、ライター、花火、電子タバコ、モバイルバッテリー、

リチウムイオン電池、スプレー缶やカセットボンベ、油の残っている缶、

化粧品のビン（除光液）など



まぜないで！

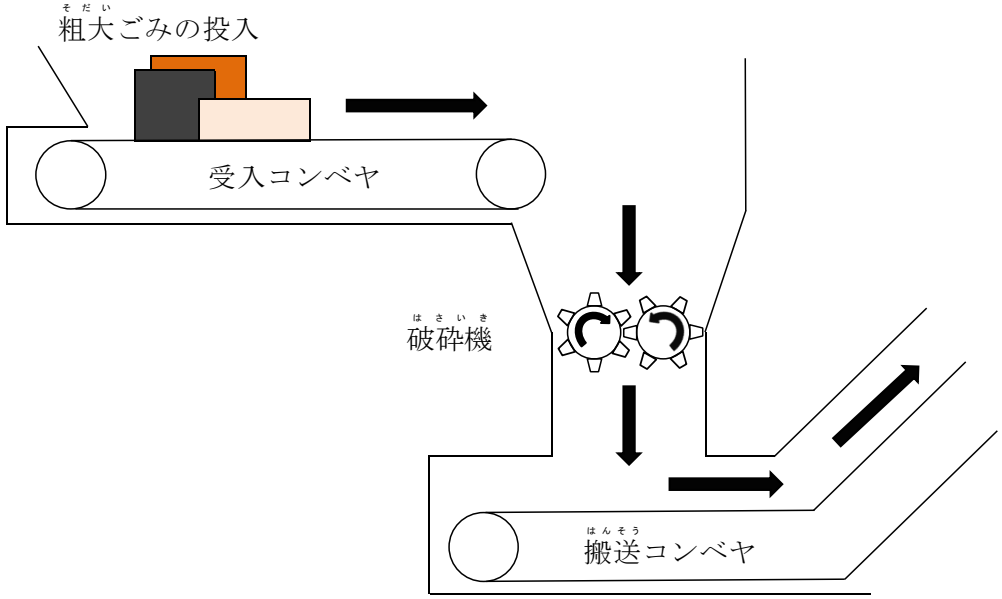
11. 粗大ごみは、どんなものでも持っていけますか？

粗大ごみは破砕機で細かくして処理してるので、だいたいの物は持ち込めますが、物や状態によっては持ち込めないものがあります。

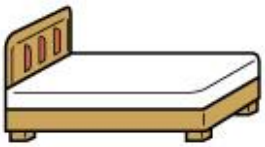
○木材、木の枝、竹

破砕機の入口の幅は１．２ｍしかなく、長いものを入れると、ここで詰まる恐れがあります。また、太い木材は、クリーンセンター衣浦の破砕機では細かくすることができません。

そのため木材は、長さが１ｍくらい、太さが１２ｃｍくらいまで。木の枝は、長さが１ｍくらい、太さが１０ｃｍくらいまで。竹は、長さが５０ｃｍくらいの大きさであればだいじょうぶです。



○スプリング（ばね）入りのマットレス



スプリング（ばね）入りマットレスは、そのままでは持ってくることはできません。

解体してスプリング（金属）と布やスポンジなどの燃やすことのできるごみに分ければ、持って来ることができます。

○机、たんす、下駄箱、本棚、食器棚等の家具

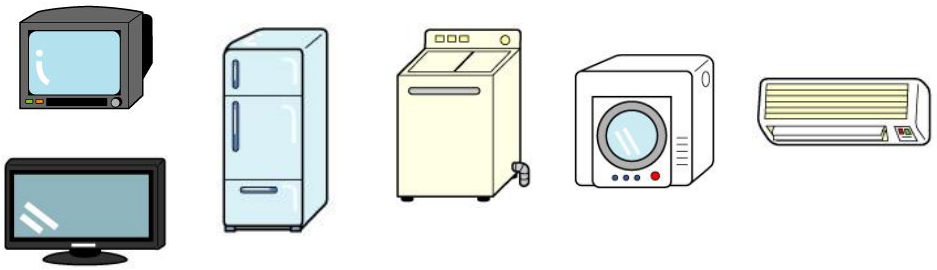
壊さずに、そのままの形で持って来ることができます。まだ使えるものは、リサイクルプラザで直して販売しています。

○カーペット、じゅうたん、たたみ

そのまま持って来ることができます。長いまま破砕機で処理することができるからです。

○テレビ、冷蔵庫（冷凍庫を含む）、洗濯機、衣類乾燥機、エアコン

法律で決められていて、クリーンセンター衣浦へは持って来ることができません。電器店に引き取ってもらいましょう。



〇その他の家電製品

テレビ、冷蔵庫（冷凍庫を含む）、洗濯機、衣類乾燥機、エアコン以外の家庭で使われている電化製品は、クリーンセンター衣浦へ持って来ることができます。ただし、ファンヒーターや石油ストーブは、油を完全に抜いてから、持って来てください。

〇ガスコンロ等のガス器具、ギター等の楽器

そのまま持って来ることができます。

〇自転車

そのまま持って来ることができます。

まだ使えるものは、リサイクルプラザで直して販売しています。

〇その他（自動車、オートバイ、農機具、プロパンガスのボンベ、消火器、発煙筒、ピアノ、タイヤ、バッテリー、塗料・シンナー、オイル・灯油、花火、アルミ粉末、ボウリング球、耐火金庫、注射針・医薬品など）

これらのごみは、持って来ることができません。クリーンセンター衣浦では処理できないからです。

１２．ごみを減らす方法はありますか？

わたしたちが生活していくうえで、どうしてもごみは発生してしまいます。しかし、そのごみも、減らすことはできます。

ごみの３R
- **① リデュース（減らす）**
- **②リユース（再使用）**
- **③リサイクル（再資源化）**

① ごみになるものは最初から求めない（リデュース）

必要な物を必要な分だけ買うようにしましょう。

② 捨てないで、もう一度使う（リユース）

おもちゃなど、まだ使える物でもいらなくなる場合がありますが、捨てないでほかの人に使ってもらえば、もう一度よみがえります。物は大切に長く使いましょう。また、衣浦衛生組合のリサイクルプラザには、リサイクルショップや情報コーナーなどがありますので、これを利用するのも、ひとつの方法です。

③ 資源回収や分別ごみとして出す（リサイクル）

アルミ缶、スチール缶、ビン、紙などを分別ごみとして出せば、資源として再利用され、ごみを減らすことができます。

１３．クリーンセンター衣浦で、ごみを処理するのに年間どのくらいお金がかかりますか？

クリーンセンター衣浦で、ごみを処理するには大変なお金がかかります。

令和５年度にクリーンセンター衣浦で処理したごみの量は、

４５．６６３トンです。

このごみを処理するのにかかったお金は、

１１億８．４８１万円です。

１トンのごみを処理するのにかかったお金は、

11億8,481万円÷45,663トン＝**２５．９４７円**です。

また、１人あたりにすると（令和５年度人口121,681人）、

11億8,481万円÷121,681人＝**９．７３７円**となります。